

テスト1の1

名古屋 東海中学校(平成26年度)

一、次の――部のカタカナを漢字に直しなさい。④⑤⑥は送りがなをふくめて書きなさい。

- ①犬は主人にジュウジュンだ。
- ②フジュン物を除く。
- ③ジガジサンする。
- ④畑をタガヤス。
- ⑤依頼をコトワル。
- ⑥馬をコヤス。

二、次のⅠ・Ⅱの文章を読んで、後の問いに答えなさい。

Ⅰ 南アフリカ共和国で白人が黒人を差別したアパルトヘイト（人種隔離）政策の撤廃に尽くしたネルソン・マンデラ元大統領が、六日に九十五歳で亡くなりました。追悼式が十日、*ヨハネスブルクのサッカー競技場で営まれ、国民や首脳らが別れを惜しみました。

アパルトヘイトは、法律で白人と黒人の住む場所を分け、異人種間の結婚も禁じました。マンデラ氏は、この法律に反対して武装闘争を指導して逮捕され、二十七年間を刑務所で過ごしました。でも、刑務所で暴力や嫌がらせを受けながらも、悪いのは人ではなく制度と思うようになったそうです。

南アフリカを変えるには、武力よりも人種を超えて気持ちを通じ合わせることが必要でした。釈放後は、①そんな姿勢でアパルトヘイトの撤廃に取り組み、一九九一年に実現します。九三年にノーベル平和賞を受賞し、その翌年、大統領になりました。

追悼式には、約百の国や国際機関の首脳らが出席しました。参加した米国のオバマ大統領は、学生時代にマンデラ氏に影響されたそうです。「不可能に思える問題でも成し遂げられると私たちに思い出させてくれる」とたたえました。

（平成二十五年十二月十五日 中日新聞記事による）

Ⅱ 先の土曜に行われたラグビーのトップリーグ、サントリーの選手の上腕に*喪章が巻かれていた。②「そうだ。これが地球規模でのスポーツ界の常識だ」と思った。

ネルソン・マンデラ、死去。かつてアマチュアのヘビー級ボクサーであった南アフリカの元大統領は、③強靱な意思と柔軟な寛容は両立しうるのだとその言動で知らしめて、多くのスポーツ人に忘れがたい印象を残した。サントリーの背番号9、南アフリカ代表スプリングボクスの*フリー・デュプレアは、試合後に言った。

「世界中で追悼がなされているはずです。私にとっても特別な日となりました。喪章を巻くと決めた仲間とチームに感謝したい」

マンデラとラグビーといえば、1995年のワールドカップ（W杯）南アフリカ大会の決勝が有名だ。スプリングボクスの激励のため人種差別の(a)象徴でもあった同代表のジャージーをまとい登場、国の統一の雰囲気を出した。新政権の周囲の反対を押し切って胸の紋章も残し、それが「白人への報復をせず」というメッセージとなった。その経緯は、クリント・イーストウッド監督の映画『インビクタス』にも描かれている。

あの瞬間、現場にいて、白人が大半の観客席が「ネルソン、ネルソン」の叫びで揺れる様子に圧倒された。対戦相手のニュージーランド代表オールブラックスの選手たちが「④自分の尊敬する人物が敵の応援をしている」状況に少し困ったような目をしていたのを思い出す。

その時、13歳のデュプレアは76歳の大統領を眺めていた。「前向きな力を感じた。人生の大きな出来事でした」。12年後、フランスでのW杯に出場して優勝を遂げる。開幕の前日、パリまでやってきたマンデラにチームとして面会した。

27年間も*収監され、そのうちの18年を孤島の*独房で過ごし、母と息子の葬儀へ参ずることも許されなかった。それなのに権力を得て感情的な復しゅうを自制した。⑤聖人【A】とは呼ばない。英米各紙の長い追悼文には、幾つかの過ち、*投資家との⑥【B】の甘い付き合いなども記されている。

ただネルソン・マンデラが、悲痛にさらされながら、人間の内面の美德をどこか(b)楽天的なまでに信じたのは確かだ。⑦悪(敵)と闘争しながら

人間の根底には悪(敵)を見ない。スポーツ精神と置き換えても故人は許してくれるだろう。

（平成二十五年十二月十日 中日新聞 藤島大の文章による）

注

*ヨハネスブルク―南アフリカ共和国の中心都市。

*喪章―人の死をいたむ気持ちを表すために、腕にまいたり、リボンにして胸につけたりする黒い布。

*フリー・デュプレア―南アフリカ共和国出身のラグビー選手。二〇〇四年より同国代表（チーム名はスプリングボクス）。二〇一一年より日本のサントリーに入団。

*収監―拘留所や刑務所などの刑事施設に収容すること。

*独房―刑務所などで受刑者を一人だけ入れておく部屋。

*投資家―利益を得る目的で、事業・不動産・証券などに資金をつぎ込む人。

問1 Ⅰの新聞記事を七十字以内で要約しなさい。

問2 ――(a)「象徴」(b)「楽天的」の意味として最も適切なものを次の中から選んで記号で答えなさい。

(a)「象徴」

ア、ある思想・心情などを形あるものによって表すもの。
イ、特定の仲間うちだけでわかる秘密の合図を示すもの。
ウ、あることがらをべつのものにたとえて説明するもの。
エ、いましめとなるものを気配によってほめかすもの。
オ、手本となるものを衣服や態度によって提示するもの。

(b)「楽天的」

ア、ものごとを自分本位に考え、つねに快楽を求める様子。
イ、裏表がなく、ものごとをうたがうことを知らない様子。
ウ、くだけていてもものごとにこだわらず、おめでたい様子。
エ、いやなものごとを目をつむり、楽しさだけを追う様子。
オ、ものごとの明るい面だけを考え、くよくよしない様子。

問3 ――①「そんな姿勢」とあるが、刑務所に収容される前後で、マンデラ氏の姿勢はどのように変わったか。Ⅰの文章の語句を利用して五十字以内で答えなさい。

問4 ――②「『そうだ。これが地球規模でのスポーツ界の常識だ』と思った」とあるが、筆者がそのように思った理由として最も適切なものを次の中から選んで記号で答えなさい。

ア、南アフリカのラグビー界に功績を残した人物に対し、同国の元代表選手の所属するチームが追悼の意を示して恩返しすることは人道的だと気づかされたから。
イ、外国人選手が多く活躍する日本ラグビー界において、ラグビーが盛んな国の元大統領が亡くなったことに哀悼の意を示すことはスポーツ精神にのっとっていると気づかされたから。
ウ、黒人選手が有利なラグビーにおいて、黒人をひいきせず、白人選手を応援する心意気を見せた黒人の元大統領の死を悲しむことは博愛的だと気づかされたから。

エ、国や人種を問わないスポーツにおいて、そのスポーツにゆかりのある人物であり、かつ人類史に残る偉業を成し遂げた人物の死をいたむことは当然だと気づかされたから。
オ、ラグビーのトップリーグのように、多くの人が注目するような試合の場において、偉人を敬う態度を示すことは日本ラグビーの誠実さを世界へ示すと気づかされたから。

テスト1の2

名古屋 東海中学校(平成26年度)

問5 ――③「強^{きやう}靱^{にん}な意思と柔軟^{じゆうなん}な寛容^{かんよう}」とあるが、

(A) マンデラ氏の「意思」が「強靱」であつたといえるのはなぜか。

Ⅰの文章に基づいて三十字以内で具体的に答えなさい。

(B) マンデラ氏の場合「柔軟な寛容」とはどのようなことだったか。

Ⅱの文章に基づいて三十字以内で具体的に答えなさい。

問6 ――④「自分の尊敬する人物が敵の応援^{おうえん}をしている」とあるが、「自分の尊敬する人物」「敵」はそれぞれだれを指すか、具体的に答えなさい。

問7 ――⑤「聖人【A】」とあるが、「知識・人徳のすぐれた理想的な人物」という意味の四字熟語になるように、空らん【A】に入る漢字二字を答えなさい。

三、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

五年生のユッキーが属する登校班の班長は、六年生のかさねちゃんである。かさねちゃんは班の先頭を歩き、手のかかるリュウセイもうまくあつかつて班をまとめていた。他人とコミュニケーションをとるのが苦手で、一つのことに夢中になると他のことが目に入らないリュウセイは、二人暮らしをしていた母親が家を出てから、となりの市に住む祖母の家に引き取られた。ユッキーとかさねちゃんは、他の班員(太郎・次郎・マユカ・ミツ・のんすけ)からのクリスマスプレゼント(九九のポスターや双子^{ふたご}の人形など)を預かつてリュウセイに届けた。

ほかのやつらのプレゼントを見たら、①なんか、思ったけど、オレは持ってきたビニールぶくろをリュウセイにおしつけた。

「これは、オレから。ハム。あとうちのおかあさんから服」

リュウセイはすぐにビニールの中を見て、「水玉のハム」って言った。服の紙ぶくろには、さわりもない。

なんかオレのハムはプレゼントにはしよすぎたかも。なんか「手みやげ」感ある。おかあさんの持たせてきた服があつてよかったかも。オレからじゃないけどさ。もとオレの服だし。

プレゼントがばらまかれた部屋に、リュウセイのおばあさんが、おぼんを持って入ってきた。

「あらまあそんなにたくさんプレゼントもらったの。わざわざありがとうございます、ほんとに」

かさねちゃんはだまって【A】してみせたから、オレもそういうふうに口をしてみたけど、たぶんそう見えてない。

「ごめんなさいね、寒い家で」

リュウセイのおばあさんは、部屋のすみのヒーターを【B】とオレたちに近づけながら言ってきた。年よりはたいてい寒さが苦手なのに、たいてい寒い家に住んでる。

修行^{しやうぎやう}か？ オレは出してもらったココアのカップに両手をあてて考えた。

「よかったら、ビスケットも食べてね」

おばあさんが言うから、食べる。

「もらったハムも食べる」

リュウセイが、もうハムをあけてはがしながら言うと、おばあさんはハムとオレたちを見て、「ありがとうね。リュウセイ、ハム好きなの？」ってリュウセイにきいた。

②リュウセイが食つてて返事しないから、オレがかわりに答えた。

「ふつうのじゃなくて、この赤くて水玉のが好きだって、前に言ってたから」

おばあさんに言つとけば、リュウセイ、また買ってもらえるかもしれない。「食べていいよ」

オレがやったハムなのに、リュウセイがえらそうに、かさねちゃんとオレにすすめてきたから、かさねちゃんもオレも、なんとなく一枚ずつもらった。

問8 ――⑥「【B】の甘い^{あま}」とあるが、「態度がしつかりしてなくて、相手にやられるすぎがある」という意味になるように、空らん【B】に入る身体の一部を表す語を答えなさい。

問9 ――⑦「悪(敵)と闘争しながら人間の根底には悪(敵)を見ない」とあるが、「悪」とはどのようなものとしてとらえられているか。それがわかる部分を、Ⅰの文章より十字程度でぬき出して答えなさい。

ハムはココアに激あわなかった。
でもリュウセイは、【C】食つてる。

「うまい？」

オレがいちおうきくと、ハムをペロみたいに口からたらしたまま、リュウセイはうなずいた。

家にココアがあるつてことは、おばあさんはリュウセイをカンゲイしてることかも。うちのおばあちゃんちでは、ココアは子どものカンゲイの飲み物だ。

「リュウセイ、もらったあつたかいの着てみなさい」

オレたちが食べてる間に、ていねいに服の紙ぶくろの中身を出してたおばあさんが、オレが前の冬に着てたフリースをリュウセイにわたした。リュウセイは、フラスナーの服なのにムリヤリ頭からかぶつて着て、むねんとこについてる、うそっこの、もんしょうみたいなやつをこすった。

「これ、ユッキーが学習発表会とき着てたやつ」

「そんなんおぼえてねえし」

リュウセイにユッキーつてよばれたの、はじめてな気がする。

げんかんでピンポンがなつて、おばあさんが出ていった。

新聞の集金の人つばい会話が聞こえてくる。げんかんのオレたちのくつことなんかを言ってる。かさねちゃんが部屋を見まわしてきた。

「ここ、もとはリュウセイのおかあさんの部屋？」

そういえば、学習デスクなんかある。オレは立ち上がつて、机にさわつてみる。ひきだしとかびみようにピンクだったけど、デスクマットもちゃんとある。

「九九のポスターさ、ここにはさめばちようどいいじゃん」

オレが言うと、リュウセイはチラッと目を上げただけで、「それはママのつくえ」って言った。

「だってこれ学習デスクだぜ。おかあさんもう学習しないじゃん」

オレは太郎のプレゼントと机にくっついてるたなを指して、「人形だつてここに置けばさ」つてていあんしてやった。

のに、

「家に帰ったらたなに置くから、しまつとく」

リュウセイは双子の人形に、ビリビリになったティッシュをムリヤリまきつけた。

「ここのはママのでオレのじゃないから」

言いながら、人形をはこに入れて、

「オレのはぜんぶしまつとくの。それで帰ったらオレの家に置く」

つづけて言つて、ほかのプレゼントも、ふくろにもどしはじめた。

③オレは、かさねちゃんを見た。かさねちゃんもオレを見たけど、なにも言わなかった。

オレたちはだまって、リュウセイがプレゼントをしまうのを見た。

(中略 ユッキーとかさねちゃんは、リュウセイの祖母の家を出た。)

外に出たら、おひさまのぶん、リュウセイのおばあちゃんちの中よりあったかい気がした。

きゅうに大きいにもつがなくなったから、わすれものしてるみたいな気がして、落ちつかない。

来るときも通った公園のどこまで来ると、かさねちゃんが水飲み場を指して、「ちよつと水飲んでいっていい？」ってきいた。

そういえば、かさねちゃんってココアが好きじゃなかったんだって思い出す。

「いいよ」

オレたちは知らない公園に入った。

かさねちゃんが水を飲んでる横で、④「ココアが家にあるってことはさ、リュウセイのために買ったのかな」ってきいてみる。

「うーん、健康のためにココア飲む人もいるよね」

かさねちゃんは、ハンカチで口をふきながら言った。

「でもオレたちだけココアで、自分はお茶だったよ」

「じゃあ、子ども用ってことかな」

首をかしげたかさねちゃんに、オレはもういつこきいた。

「リュウセイのおばあさん、リュウセイのことかわいいのかな」

「かわいいと思ってるかはわかんないけど、少なくとも子どもはかわいからなくちゃって思ってるんじゃないかな」

歩きだしながら、かさねちゃんがシンチョウに言う。

「*ミギーとリュウセイのおばあさんと、どっちがリュウセイのこと好きかな」

オレはなんか、質問ばかりになっちゃう。

「どうだろうね。でも、あのお家うちにいれば、*電気もつくし、ごはんも食べれるし」

「でもリュウセイ、すぐ帰ると思ってるよ。プレゼントしまつてた」

公園の出口で、かさねちゃんは立ちどまって、オレを見た。

「⑤ユツキーは、リュウセイが帰ってくるのがいいと思う？」

「どうなんだろう。でも、

「家のことはわかんないけどさ、班があるじゃん、こっちの学校の班に入ってたって、リュウセイぜったいダメだし。班はさ、かさねちゃんがいれば、かさねちゃんの班にいるのが、リュウセイはいちばんちゃんとできるから、いい班長がいるところにいるのがいいと思う。でも来年の班長はオレで、そうしたらぜんぜんダメだけど」

オレは言いながら、わけがわかんなくなってきた。

笑われるかと思ったけど、かさねちゃんはまじめな顔で言った。

「わたしは特別な班長じゃないし、ユツキーは来年、いい班長になると思うよ」

「かさねちゃんみたいにはできない」

「すぐなさないけど、オレはつづけて言っちゃった。」

「リュウセイが知らない人になんかしたときもミツがケンカしたときも*西條さいじょうになんか言われたときも、かさねちゃんみたいに一人で、かいけつできない」

「一人じゃないよ。そのとき、ユツキーいてくれたし、うしろに。マユカとか、みんなも。いつも一人じゃなかったよ」

⑥オレはかさねちゃんの言ったことのいみを考えた。ぜんぶほんとうに思えなかったけど、ぜんぶうそだとも思わなかった。

ぐるぐる考えると、どんどん早足になって、気づいたら、はじめて、かさねちゃんの前を歩いてた。

駅前まで来て、オレは信号待ちで横にならんだかさねちゃんにきいた。

「かさねちゃんは、なんでリュウセイとうまくやれんの」

「⑦ほかの人とちがうところがあるとしたら、傷つけられる準備ができてるってとこかな」

信号を見つめながら、かさねちゃんが言ったから、びっくりした。

「かさねちゃんでも、リュウセイのことで傷つくとかあんの？」

「うーん、がっかりしちゃうことはあるでしょ、リュウセイに、たまに」

「たまにじゃないけど」

「ふふ。ええとね、約束とかして、こんどこそはちゃんとしてくれるかなって思って、でもやっぱりいつものリュウセイだったりすると、かっぺに期待してたのは自分なのに、ショックとか思っちゃうじゃない？」

「思う」

「でも、ショックと思うけど、やっぱり心の準備ができてるから、ほんとはそんなにショックじゃないの」

「ああ」

「でもそれはリュウセイに期待してないって意味じゃなくて、ええと」

「うん」

信号が青になって、オレたちは歩きます。

「リュウセイのことで、何回いやな思いしたって平気だよっていうか、バツチこいみたいな」

「はは、バツチこいウケる」

「わたしだけじゃなくて、ユツキーも、班のみんなもそうでしょ。思いどおりにならないのがリュウセイだって、わかってる。でも、わかってない人もいっぱいいて、そういう人はリュウセイの言動にびっくりしておこっちゃって、いっしょには、いられないの」

オレは、おこっちゃったいろんな人を思いうかべた。

「……ゆだんしたら、ダメージがかいってこと？」

「そうかも」

駅について、高架こうかに電車がゴーッてきた。あれがオレたちの乗る電車だったら、間にあわない。

「でもやっぱオレじゃあ、かさねちゃんみたいな班長にはなれない」

オレがまた言うど、かさねちゃんがまゆげを下げたから、いそいで、

「*石関いしきまよりかマシなのは知ってるけど」って、つけたしたら、かさねちゃんがウケた。

「ユツキーはみんなにおんなじだから。人によって態度かえたりしないから、いいよね」

「そんなん言ったらみんなそうだよ。太郎も次郎もマユカもミツものんすけも、リュウセイだって」

きゆうにはずかしくなって、オレは超早口ちようそうくちになった。

「⑧ね、いい班だね。来年もアンタイだね」

かさねちゃんは、風にふかれたかみの毛を耳にかけながら、笑って言った。

(有沢佳映「かさねちゃんにきいてみな」より)

注 *ミギー―近所のおばあさんで、リュウセイによくパンをあげていた。

*電気もつくし、ごはんも食べれるし―リュウセイの家は、母親がいなくなつて、電気を止められ、ご飯を作る人もいなくなつた。

*西條―同じ町内の別の登校班の児童。リュウセイにちよつかいを出す。

*石関―同じ町内の別の登校班の班長。

問1 【A】【B】【C】に入る語として最も適切なものを

次の中からそれぞれ選んで記号で答えなさい。ただし、記号は一度しか使えないものとする。

ア、いやいや イ、ばくばく ウ、ニコニコ
エ、どやどや オ、イライラ カ、ズリズリ

問2 ―①「なんかな、と思ったけど」とあるが、何についてどのような思ったのか。それがわかる一文を本文中よりぬき出して初めの五字を答えなさい。

問3 ―②「リュウセイが食つてて返事しないから、オレがかわりに答えた」とあるが、なんのためにそうしたのか。三十五字以内で答えなさい。

問4 ―③「オレは、かさねちゃんを見た。かさねちゃんもオレを見たけど、なんにも言わなかった」とあるが、二人はどのようなことを感じ取ったのか。二十五字以内で答えなさい。

問5 ― ④『ココアが家にあるってことはさ、リュウセイのために買ったのかな』ってきいてみる』とあるが、ユッキーはどのようなことを心配してこのようにきいたのか。三十五字以内で答えなさい。

問6 ― ⑤「ユッキーは、リュウセイが帰ってくるのがいいと思う?」とあるが、その問いに対するユッキーの考えを説明した次の文の空らんを補いなさい。ただし、本文中より十二字程度でぬき出して答えなさい。

どの家に住むかということは重要でなく、【 】ことが必要だと考えている。

問7 ― ⑥「オレはかさねちゃんの言ったことのいみを考えた」とあるが、その「いみ」を四十字以内で説明しなさい。

問8 ― ⑦「ほかの人とちがうところがあるとしたら」とあるが、かさねちゃんは他の班員もリュウセイとうまくつきあっていると考えている。その理由がわかる一文を本文中よりぬき出して初めの五字を答えなさい。

問9 ― ⑧「ね、いい班だね。来年もアンタイだね」とあるが、かさねちゃんがそう言うのはなぜか。本文中の語句を利用して三十字以内で答えなさい。

問10 本文の表現上の特徴(とくちょう)についての説明として最も適切なものを次の中から選んで記号で答えなさい。
ア、語り手がかさねちゃんの言葉を完全に理解できないまま物語を進めることで、読者にも彼女を神秘的に感じさせる効果がある。

イ、リュウセイの心の中の言葉を明らかにしながら、なかなか自分の思いが伝わらない彼のもどかしい気持ちが強調されている。

ウ、ユッキーを語り手にすることで、彼のかさねちゃんに対するほのかな愛情を率直(そつちてい)に書き連ねることに成功している。

エ、小学五年生の視点から現代の話し言葉も交えつつ、それぞれの場面での語り手のこまかな心の動きまでも描(えが)いている。

オ、全体を通し、語り手が読者の疑問を代弁して一方的に質問を繰り返す形で物語を進めていくというわかりやすい構成になっている。

問11 ― 「ぐるぐる考えると、どんどん早足になって、気づいたら、はじめて、かさねちゃんの前を歩いてた」とあるが、この場面がほめかしているように、人は成長することで自分より先を歩む人(より能力の高い人や指導をしてくれる人など)に迫いつき、追いかすことがある。あなたが一生懸命(けんめい)取り組んでいることにおいて先を歩む人を一人挙げ、その人物について具体的に説明した上で、いつかその人を追いこしたときにどのような気持ちになるかを想像して百字以内で書きなさい。

(字数制限のある問題は、特に指示がない限り、文字以外の記号もすべて字数に入れること。)

[illegible]

⑤	③	①
⑥	④	②

[illegible]

